

テキストの構成と使い方

このテキストは、テキスト本体と、とじ込み「この本の使い方」と、60分テープ1本からできています。

本体は、全10課からなり、各課は1～3の章に分かれています。

どの章も、絵から得たイメージを、テープのモデルにならって音声化していくと、会話が自然に体得できるようになっています。

タイトル

各課のタイトルは、その課で行う行動を示しています。

例 5か でんしゃに のりましょう

各章のタイトルは、その章を学ぶと何ができるようになるか示しています。

例 1しょう きつぷを かう
2しょう のりばを きく
3しょう でんしゃを かくにんする

タイトルには、8ヶ国語で対訳がついていますから、学習者は、何をしようとしているか目標をはっきり自覚した上で学習を進めることができます。

各章の構成



どの章も、最終段階のステップ4に、実際に会話を行うことを促す工夫（ペアー・シートやインタビュー・シート）が用意されています。

ステップ1からステップ3までを、絵とテープを使って順次、理解、練習すれば、目標の会話を行うのに必要十分な日本語が身につきます。

各ステップで行うべきこと



ステップ1には、目標の会話（例：切符を買う）を行うのに必要な語彙や文型などが提出されています。

語彙や文型は、会話を構成する部品にすぎませんから、これを覚えただけではバラバラの知識が身につくだけです。

しかし、部品がなくては会話は成り立ちませんから、絵から得たイメージを、テープをモデルにして声に出して言えるようにしてください。

- 例 1. 行き先の地名 上野 新宿 横浜 など
2. きっぷの代金 120円 1260円 など



ステップ2には、会話の“基本の部分”が提出されています。

ステップ1の部品を使って声を出して練習してください。

- 例 A：(行き先の地名) はいくらですか。
B：(きっぷの代金) です。



ステップ3には、ステップ2で提出された“基本の部分”が実社会の中でどう使われているかが例示されています。

- 例 A：すみません。 かまくらはいくらですか。
B：かまくらですか。 かまくらは880えんですね。
A：800…
B：880えんですよ。
A：あ、そうですか。 ありがとう。

斜体部分の“呼びかけ、聞き返し、確かめ、あいづち、礼”などが加わって初めて、下線の“基本の部分”は生きた会話になります。

ステップ4で行う会話のモデルですから、よく聞き、観察し、練習して課題がこなせるように準備してください。



ステップ4には、課題の会話を促すペアー・シートやインタビュー・シートが用意されています。それを使って実際に会話を行ってください。

付 録

このテキストの狙いは、課題の会話を行うことですから、各章にはそれに必要十分な語彙しか提出されていません。語彙の補足は巻末の付録で行ってください。